

伊江島の未来を築く地下ダム

～国営かんがい排水事業 伊江地区による効果～



伊江島の未来を築く地下ダム

1. 事業の概要

関係市町村：沖縄県国頭郡伊江村
受益面積：668ha (畑668ha)
主要工事計画：地下ダム1か所(地下連続壁攪拌型)
揚水機場2か所、用水路9.0km
国営総事業費：26,885百万円
工期：平成16～29年度

2. 事業の目的

本事業により地下ダムを新設するとともに、揚水機場、用水路を整備し、併せて関連事業による末端用水路等の整備を実施することにより、安定的なかんがい用水の確保を行い、農業生産性の向上及び農業の近代化を図り、農業経営の安定に資することを目的にしています。



伊江島の未来を築く地下ダム

効果1. “水あり農業”によって島らっきょう等の高収益作物が導入

地下ダム等が整備されて農業用水の安定供給が可能となったことによって、営農の自由度が増し、島らっきょう、にんにく、かんしょなどの高収益作物が導入されました。

本地域の主な作目



さとうきび



きく



かんしょ



島らっきょう



にんにく

ここがポイント！

いつでも水が使える基盤が整ったおかげで、地元に戻って特産の島らっきょうを栽培出来るようになったよ。
栽培した島らっきょうは、自ら販路開拓し沖縄県内の飲食店だけでなく、関東方面にも出荷しているよ。



島らっきょう農家
(西崎区)

伊江島の未来を築く地下ダム

効果2. 伊江島のきく栽培を支える地下ダムの水

きくの栽培には大量の水が必要となります。地下ダムやかんがい施設などが整備され、水やり労力の軽減が図られたことで、若手の新規就農や経営の規模拡大が進み、産地の形成に寄与しました。

また、きくの開花を調節する光は、伊江島の風物詩でもあり、都会のイルミネーションとは異なる、どこか懐かしい農村の風景を見ることができます。

伊江島で生産されるきくの種類



小ぎく



スプレーぎく



輪ぎく



自動かん水装置

給水栓



電照ぎくのイルミネーション



ここがポイント！

畑かん施設が未整備だったときは、トラック運搬での水やり作業にかなり時間が掛かっていたが、**畑かん施設が整備されたほ場に自動かん水装置を導入**したことで、水やり作業の省力化と輪ぎくの単収・品質の向上に繋がったよ。



きく農家
(東江上区)

伊江島の未来を築く地下ダム

効果3. 民泊と農業体験が生み出す、都市と農村の交流促進

伊江島では、平成15年度から県内外の修学旅行生を対象とした農業体験ができる民泊（伊江島民家体感学習泊）の取組が開始され、都市住民との交流が始まりました。

その後、受け入れ人数は急速に増加し、多い年では年間延べ5万人以上が訪れ、観光振興と相まって伊江村の一大事業に成長し、農業を含めた地域経済の活性化にも大きく貢献しています。

農業体験の様子



修学旅行生との別れの場面



移住体験プログラムの様子



ここがポイント！

民泊や農業体験を通じて、都市部からの修学旅行生に農業・農村に対する理解を深めてもらうことは大変重要だと思います。本事業による基盤整備の効果として、その生徒達が見る農村の風景や農業体験の場を形作るといった一面もありますね。



専門家
(事後評価時)

伊江島の未来を築く地下ダム

効果4. 加工・販売による新たな価値の創出

伊江島には、伊江村農産物食品加工センター（平成15年）や伊江島蒸留所（平成23年）などの施設があり、それらの施設が加工を担い、本地域において農産物の生産から加工、販売までを一貫して行うことで、特産品としての伊江島ブランドを確立しています。

さとうきびを原料に
加工製造したラム酒



貯蔵の様子（伊江島蒸留所）



紅イモ加工施設の内部



ここがポイント！

畑かん施設が整備されたことにより、様々な作物の栽培が可能となり、**特産品の開発や雇用の創出**にもつながっていますね。



専門家
（事後評価時）